


## 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	やめちくご 一般国道442号 八女筑後バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	福岡県	
起終点	起点：福岡県八女市納楚 終点：福岡県筑後市前津	延長	4.6km			
事業概要	八女、筑後両市の市街地における現道の交通混雑解消を目的とし、延長約4.6kmの完成4車線道路（暫定2車線で事業化）及び完成2車線道路として、平成8年度から事業着手している。これまでに約0.6kmの部分供用を行っている。					
H8年度事業化	H7年度都市計画決定 (H年度変更)	H8年度用地着手	H9年度工事着手			
全体事業費	128億円	事業進捗率	85%	供用済延長	0.6km	
計画交通量	19,900台/日 (2車線区間：4,500台/日)					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 16.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 12/134億円 事業費：9/130億円 維持管理費：4/4億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 204/204億円 走行時間短縮便益：194/194億円 走行費用減少便益：4/4億円 交通事故減少便益：6/6億円	基準年	平成17年	
感度分析の結果	なし					
事業の効果等	物流効率化の支援、都市の再生				他2項目に該当	
関係する地方公共団体等の意見	国道442号道路整備促進期成会、国道442号バイパス道路新設促進期成会、国道442号（大川－矢部間）整備促進期成会や県南総合開発促進会議より、毎年早期完成の要望がなされている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成6年度の自動車交通量18,219台/日から平成11年度の交通量16,973台/日と若干の交通量減少となっている。これは平成9年度末に九州自動車道広川ICが開通し、隣接する八女ICの交通量がやや減少したためと思われる。ただし、平成11年度の混雑度は1.42と依然高い状態である。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成17年度末までに85%の事業進捗の予定である。 残事業：物件51件、用地面積18,000㎡、橋梁1橋、改良工事L=2.9km					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	完成予定年度に向けて、鋭意用地交渉を行い、用地取得後速やかに工事着手し、事業の推進を図る。					
施設の構造や工法の変更等	コンクリート製品（L型擁壁、境界ブロック）やリサイクル材料（再生As、再生Cr）の使用などを行っている。今後も新工法や新材料の採用、建設発生土の工事間有効利用などを図りコスト縮減に努めていく。					
対応方針	継続					
対応方針決定の理由	本路線は、筑後地域を東西に横断し大分方面へも連絡し、さらに有明海沿岸道路と九州縦貫自動車道とのアクセス性の向上も図る重要な路線である。加えて、第1次緊急輸送道路ネットワークに指定されている。しかし、現道は交通混雑が著しいため、その機能を十分に果たせない状況にある。さらに、歩道には幅員狭小区間もあり、交通安全上極めて危険な状況である。また、本路線は筑後BP、大木大川BPと一体となり広域的な効果を発揮するものであり、地域振興支援の上においても、本路線の整備は重要であると考えます。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。